

事業所名

児童発達支援事業所めばえ（放課後等デイサービス）

## 支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

28 日

法人（事業所）理念		【子どもたちの未来に向けて】 子どもたちが未来に向けて芽を伸ばすように、日常生活で基本となる動作の取得など「できること」を少しずつ増やしていくことで、自信を持ち可能性を広げていけるように支援いたします。 子どもたちの発達の基盤となるご家族が、ゆったりとした気持ちで子どもを見守ることができるように「家族」と「子」の両方の気持ちに寄り添い、成長の喜びを一緒に感じていただけるように支援いたします。						
支援方針		子どもが安心感と信頼感を感じながら、自分を表現できる場所づくりをします。 一人ひとりの強みに着目し、こどもの育ちや可能性を広げていきます。						
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	子どもの身体と心の成長、そして特性をふまえた、思春期の難しさを受け取めながら、寄り添い、支援していきます。 自由に活動を選択し、自分で選ぶ力を身につけていく様、活動の提供をしていきます。						
	運動・感覚	全身の運動機能や姿勢保持機能、感覚を活用できるよう、全体活動の中で戸外活動、サーキット、製作などを取り入れていきます。						
	認知・行動	視覚からの情報で状況を取得し、行動の手がかりとなる様に、タイムスケジュールやルールを掲示するなど自身で意識し行動につなげることができる支援をしていきます。						
	言語 コミュニケーション	言葉や表情、行動で意思を示しながら、やりとりの楽しさを味わったり人への興味関心が育つよう、自由に表現できる場所を提供していきます。 相手の意図や状況などを獲得し、場面に応じた対応が出来る様に関りの中でわかりやすく伝えていきます。						
	人間関係 社会性	ルールのある活動や合同遊びなどを通して、仲間を意識し楽しさを感じたり、気持ちの折り合いをつける力を養っていきます。 日直や、人前で発表する機会を通じて自分を肯定的にとらえていきながら、状況に応じて、気持ちや行動の調整ができる様に支援していきます。						
家族支援		子どもの発達状況や課題について家族の意向や本人の意思もふまえて寄り添い、支援していきます。（半年毎の面談、その都度相談受付）			移行支援		関係機関との情報交換。 将来を見据えた移行先との相談・援助。 移行先や将来について本人や家族との相談支援。	
地域支援・地域連携		課題や成長を見据えた、併用先との連携。（通所回数や利用についての相談） 移行先への相談支援。			職員の質の向上		子どもの性別や国籍に配慮していきます。 自治体や児童発達支援センターなどへの研修会や勉強会に参加をします。	
主な行事等		お正月、クリスマス、そり遊び、クッキング、七夕、夏休みお楽しみ会						